

(様式第9号)

情報公開用文書

「上部尿路結石症に対する経尿道的尿路結石破碎術における周術期合併症と術後尿管狭窄症に関する全国調査」 について

1, 研究（調査）の目的と概略

上部尿路結石疾患の「経尿道的尿路結石破碎術」に関するエビデンスを蓄積し、標準術式として確立することを目的とします

2, 研究（調査）の方法

上部尿路結石の診断の元、「経尿道的尿路結石破碎術」を施行された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、神戸大学へ情報提供されます。

3, 研究（調査）の参加施設

徳島県立中央病院

4, 調査期間

調査期間 倫理委員会承認日から 2021年3月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、上部尿路結石の診断の元、「経尿道的尿路結石破碎術」の診療を施行された患者様です。2017年4月1日から2020年3月31日までの3年間に徳島県立中央病院で上部尿路結石に対する経尿道的尿路結石破碎術を施行し周術期合併症を発症した患者さん。全国で300例の情報収集を目標にします。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を守ります。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局 神戸大学医学部附属病院 泌尿器科 医局

研究責任者 神戸大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 藤澤正人

当院研究責任者 井崎博文

お問い合わせ先 徳島県立中央病院 泌尿器科 088-633-7151 (内線 5082)